

以下にReference Tool SDKパッケージの不具合修正を記述します。

- Release 110.006 の不具合修正

Release 110.006 の不具合修正

システムソフトウェア

- ゲームデータの情報画面において、作成日時がタイムゾーン分増えて表示される問題を修正しました。
- ゲームデータのリストの並び順が、作成日時の古い順番で並んでいた問題がありましたため、作成日時の新しい順番に並ぶように修正しました。

システムユーティリティ

< セーブデータユーティリティ >

- セーブを数千回繰り返すと、以降のセーブが正しく行われない事があった不具合を修正しました。
- 固定セーブ/ロード時に取得されるセーブデータリストが正しく取得できなかった不具合を修正しました。
- リストセーブ/ロード時、素早くデータを選択すると、タイミングによっては不正なアドレスをアクセスし、ハングアップする事があった不具合を修正しました。
- samples/sysutil/savedata サンプルにおいて、cellSaveDataFixedSave/Load のプレフィックス指定検索に複数のアイテムが一致した場合に無限ループに陥ってしまっていたという不具合を修正しました。
- samples/sysutil/savedata サンプルにおいて、電源OFFイベントのタイミングによっては、メモリ破壊を起こしてしまう可能性があるという不具合を修正しました。

< オーディオ設定ユーティリティ >

- 以下の何れかの条件を満たした時にcellAudioOutGetState() で取得するCellAudioOutState構造体のstateメンバにCELL_AUDIO_OUT_OUTPUT_STATE_ENABLEDが返らない不具合を修正しました。
 - 音声出力設定がHDMIになっているがHDMIケーブルが接続されていない
 - 音声出力設定がHDMIになっているがHDMI機器の電源がオフになっている

< ビデオ設定ユーティリティ >

- 以下の何れかの条件を満たした時にcellVideoOutGetState() で取得するCellVideoOutState構造体のstateメンバにCELL_VIDEO_OUT_OUTPUT_STATE_ENABLEDが返らない不具合を修正しました。
 - 映像出力設定がHDMIになっているがHDMIケーブルが接続されていない
 - 映像出力設定がHDMIになっているがHDMI機器の電源がオフになっている

< On-Screen Keyboard ユーティリティ >

- オンスクリーンキーボードダイアログを起動した後、状態通知コールバック関数のstatusにCELL_SYSUTIL_OSKDIALOG_LOADEDが返却されますが、実際のダイアログ画面の表示までには若干のタイムラグがあります。実際に画面が描画されるまでの数フレームの間にcellOskDialogAbort() を呼ぶとハングアップする事があった不具合を修正しました。

< Web Browserユーティリティ >

- JavaScriptで複数のタブを開いたまま終了するとハングアップする問題を修正しました。
- cellWebBrowserShutdown() を実行してもシステムコールバックが呼ばれなかった点を修正しました。今後はシステムコールバックにコールバック要因としてCELL_SYSUTIL_WEBBROWSER_SHUTDOWN_FINISHEDが渡された状態でシステムコールバックが呼ばれます。

< AVチャットユーティリティ >

- AVチャットユーティリティ(sysutil_avc) をロード後、チャットを開始せずにアンロードを呼ぶとDSIが生じる問題を修正しました。

- sysutil_avc.h において、以下の定数値がリファレンスドキュメントの記述と異なっている不具合を修正しました。

修正:

CELL_AVC_ERROR_INVALID_STATUS : 0x8002b708 -> 0x8002b70a
CELL_AVC_ERROR_NO_SESSION : 0x8002b709 -> 0x8002b70d

追加:

CELL_AVC_ERROR_TIMEOUT : 0x8002b70b

- チャット開始のタイミングにより、自画像しか表示されないことがある問題を修正しました。
- チャット開始のタイミングにより、接続が不安定になる問題を修正しました。
- チャットを終了しても、チャットが正常に終了しないことがある問題を修正しました。
- samples/sysutil/avc サンプルにおいて、メッセージ表示位置やカーソル初期位置を正常な位置に修正しました。

ネットワーク

- 一部のルータにて PPPoE ブリッジ機能を使用して接続できない不具合を修正しました。

NPシグナリングユーティリティ

- NPシグナリングユーティリティにてアクティベート、ディアクティベートを繰り返した際に、まれにシステムソフトウェアがハングアップする可能性がある不具合を修正しました。
- UPnP設定が“無効”の端末から取得した場合のネットワーク情報構造体において、
nat_status: SCE_NP_SIGNALING_NETINFO_NAT_STATUS_UNKNOWN
upnp_status: SCE_NP_SIGNALING_NETINFO_UPNP_STATUS_UNKNOWN
となっていた点を
nat_status: 正しいNATタイプ
upnp_status: SCE_NP_SIGNALING_NETINFO_UPNP_STATUS_INVALID
となるように修正しました。

NPスコアランキングユーティリティ

- 以下の不具合を修正しました。
 - 特定のハードウェアで sceNpScoreRecordScore() を呼び出すと、常に SCE_NP_COMMUNITY_SERVER_ERROR_BAD_REQUEST (0x8002a401) が返り失敗する不具合があります。
この不具合に関して、ゲームタイトル側対応を行っていただく必要はありません。

詳細は技術情報を参照してください。
<https://ps3.scedev.net/technotes/view/357>

- sceNpScoreDestroyTransactionCtx() を呼ぶ際の以下の制限事項が解除されております。
 - sceNpScoreAbortTransaction() で処理を中断直後に sceNpScoreDestroyTransactionCtx() を使用して NPスコアランキングトランザクションコンテキストの破棄をする事は出来ません。
必ず処理終了の確認が必要になるので御注意下さい。
- 制限事項が解除されましたため、事前に通信処理終了の確認をする必要はありません。
通信処理中にコンテキストを破棄した場合、対象の通信処理の中断を行われます。
なお sceNpScoreDestroyTransactionCtx() で行われる通信処理の中断の進行に cellSysutilCheckCallback() のポーリングは必要はありません。
- sceNpScoreRecordGameData() で1回当たりの送信データサイズに 3985バイト以上の値を指定すると 0x8002e005 が返る不具合を修正しました。

NPマッチングユーティリティ

- 招待メッセージ受信ユーティリティにおいて、以下の操作を行った時に不正なエラーコードを返していた不具合を修正しました。

1. 招待メッセージ受信ユーティリティからルーム参加した際に何らかのエラーが発生
 2. 招待メッセージ受信ユーティリティを終了せずに別の招待メッセージから別のルームへ参加
 3. 2で行ったルームの参加が成功したのにも関わらず1で発生したエラーコードが返る
- 招待メッセージ受信ユーティリティを起動し、参加成功後に参加失敗(ルームが無い)のコールバックが返ってきてしまう問題を修正しました。
 - 招待メッセージ受信ユーティリティ、及び `sceNpMatchingSearchJoinRoomGUI()` により既存のルームを検索し、ランダムに参加するユーティリティにおいて、同時に複数人がルーム参加すると、ユーティリティの完了イベントより先にルームイベントがゲームに通知される問題を修正しました。

NPベーシックユーティリティ

- オンラインプレゼンスとオフラインプレゼンスのNP IDが正しく比較できるように修正しました。
- NPベーシックのイベントハンドラをサインイン直後に登録するとフレンドの一部のオフラインプレゼンスを取得できない不具合を修正しました。
- NP IDを渡すAPIにhandleが空かどうかチェックするように修正しました。

np_gui サンプル

- np_gui サンプルにおいて、画面中に表示されている Conditions 設定における LEVEL、WORLD パラメータを変更してルームの作成を行っても、作成されたルームにパラメータの値が反映されない不具合を修正しました。

libhttp

- redirectされた接続をサーバ側で閉じても再利用する不具合を修正しました。
- プロキシ経由のSSL接続でCONNECTを送った後、認証情報が削除される不具合を修正しました。
- 極稀に、httpsを使用時にマルチスレッドセーフである関数がマルチスレッドセーフではなくなる瞬間があった箇所を修正しました。

C/C++標準ライブラリ

<PPU>

- time.hの以下の関数で、2038年以降の時刻を正しく扱えないという不具合を修正しました。
`ctime, gmtime, localtime, mktime`

CODEC

<libdmux>

- 以下の制限事項はSDK085より解除されております。
 - サンプルは、SXGA以上の解像度を持つPCモニタないし1280x720/60p入力に対応したHDMIモニタへの出力が前提となっています。このためsetmonitorユーティリティで予め適切にモニタ設定がなされていない場合、エラーメッセージを表示し、途中で終了します。
- libpamfを用いたVideo画枠サイズ取得方法について、以下の問題を修正しました。

Video画枠サイズの取得にCellPamfM2vInfo構造体またはCellPamfAvcInfo構造体のhorizontalSizeとverticalSizeを使用していましたが、サイズが16の整数倍ではないストリームで問題がありました。MPEG2ではhorizontalSizeValueとverticalSizeValueを使用するように修正しました。AVCではvideo_decoderから出力されたピクチャ情報に含まれる値を使用するように修正しました。

libsail

- 以下の不具合を修正しました。
 - 再生中に以下の関数の呼び出しが、正常に終了しません。
cellSailPlayerOpenEsAudio()
cellSailPlayerOpenEsVideo()
cellSailPlayerCloseEsAudio()
cellSailPlayerCloseEsVideo()
- 以下の不具合を修正しました。
 - CELL_SAIL_EVENT_SOURCE_EOSのイベントがあがった直後に
cellSailPlayerStop() を呼ぶとタイミングによってSTOPの完了が
通知されず、以後プレイヤーの操作ができなくなります。
- 以下の不具合を修正しました。
 - cellSailGraphicsAdapterGetFormat() を呼び出した際に取得した
CellSailVideoFormat 構造体の pitch の値が2倍になっています。
- streaming/simple_player サンプルにおいて、
SimplePlayer::onMixerNotified() 内でcellSailSoundAdapterGetFrame() の
呼び出し後にエラーチェックをせずに後続の処理を行っていた部分を修正しました。

SPU Runtime Library

<libspurs>

- 以下の不具合を修正しました。
 - SPUにてcellSpursEventFlagWait() を実行した時、引数maskに対して、
以前受け取ったSPURSイベントフラグのビットパターンとmaskの論理和を
返す事があります。
(発生条件)
以下の条件を全て満たした時に論理和が返る事があります。
 - cellSpursEventFlagInitialize() の引数directionに
CELL_SPURS_EVENT_FLAG_SPU2SPU を指定してSPURSイベントフラグを
初期化している場合
 - cellSpursEventFlagWait() の引数maskで指定したビットパターンの
n bit目が0であるのに対して、以前のSPURSイベントフラグのビット
パターンの n bit目が1だった場合
- 以下の不具合を修正しました。
 - samples/spu_library/libspurs/common/ppu/libsample_spurs_utils.mk
でlibspurs3という存在しないパスの指定があるため、このmkファイルを
インクルードして使用した場合はエラーとなる場合がある。

<libdaisy>

- 以下のヘッダファイル内にC++の規約に反する記述があった箇所を修正しました。
target/spu/include/cell/daisy/glue.h
- libdaisyで以下の関数をPPU側で使用するコンパイルエラーになる不具合を
修正しました。
Pipe::InPort::beginPush(void)
Pipe::OutPort::beginPop(void)
QueueControl::Local::dump()

libgcm

- cellGcmSetSecondVFrequency() の引数にCELL_GCM_DISPLAY_FREQUENCY_SCANOUT
を指定して実行した後にCELL_GCM_DISPLAY_FREQUENCY_59_94HZを指定して、
cellGcmSetSecondVFrequency() を実行すると第2のV割り込みが発生しなくなる
不具合を修正しました。

libdbgfont

- 以下の不具合を修正しました。
 - libdbgfont_gcm.a に含まれている cellDbgFontInitGcm() 関数において、
引数として設定する CellDbgFontConfigGcm構造体の localBufAddr メンバ、
または mainBufAddr メンバに不正な値が入っていた場合、-1が返る、もしくは
関数内でハングアップしてしまう不具合があります。
不正な値とは、libgcmがアクセスできない範囲のアドレスになります。

なお、メインメモリを使用しない設定では、mainBufAddrメンバの設定は無視されます。
(optionメンバにCELL_DBGFONT_VERTEX_MAIN, CELL_DBGFONT_TEXTURE_MAINのいずれも指定していない場合)

libaudio

- 関数 cellAudioGetPortTimestamp() において、システムソフトウェアにてサウンド設定が「HDMI: Dolby Digital 5.1 Ch. 指定あり、Linear PCM 5.1 Ch. 48 kHz 指定なし」の場合に、正しいタイムスタンプ値が取得できない不具合を修正しました。

libmixer

- 関数 cellSurMixerGetTimestamp() において、システムソフトウェアにてサウンド設定が「HDMI: Dolby Digital 5.1 Ch. 指定あり、Linear PCM 5.1 Ch. 48 kHz 指定なし」の場合に、正しいタイムスタンプ値が取得できない不具合を修正しました。

MultiStream

- cellMSSStreamOpen() や cellMSSCoreInit() で初期化を行った後、cellMSSStreamSetInfo() を2回以上呼ぶとエラーが発生する不具合を修正しました。
- cellMSFXParaEQInit(), cellMSFXParaEQSet(), cellMSFXParaEQGetNeededMemorySize() を使用すると例外が発生する不具合を修正しました。
- CellMSSystemConfig構造体のflagsをCELL_MS_DISABLE_SPU_PRINTF_SERVERとし、MultiStream SPUのprintfサーバを無効化にする設定をして使用してもSPUのprintfサーバを終了しなかった不具合を修正しました。
- ストリームのピッチを極端に高くしたり、ペロシティーを高くした場合、DMAアライメントエラーでアプリケーションがハングアップしてしまう不具合を修正しました。
- 以下の指定で関数を使用すると例外エラーが発生する不具合を修正しました。

cellMSFXVocoderSetModulatorVolume() において、引数addrを0に設定
cellMSFXVocoderSetEQBand() において、引数addrを0に設定
cellMSFXFilterSet() において、引数pSettingsを0に設定
cellMSFXDelayInit() において、引数paramListを0に設定
cellMSFXParaEQSet() において、引数paramListを0に設定
- cellMSFXxxxx() のポインタ引数へNULLを指定して実行すると例外エラーが発生してしまう不具合を修正しました。
- samples/sound/multistream/simple_atrac/src/main.cppの中に不正な文字コード(0x06)が入っていた点を修正しました。
この修正により、サンプルプログラムのビルド時に出ていたwarningメッセージが出力されなくなります。
- samples/sound/multistream/rain_sampleを実行後、以下のコマンド入力で終了処理を行うと例外エラーが発生する不具合を修正しました。

1. bedbg -T;
2. dtpoff;
3. bedbg -terminate;
- samples/sound/multistream/simple_duckerにおいて、ボコーダDSPエフェクトの効果を改善しました。
- 以下のサンプルにおいて、ストリームデータの終了処理が正しく行われていなかった為、ストリームデータをCloseすると音が鳴らなくなる不具合を修正しました。

samples/sound/multistream/simple_envelope
samples/sound/multistream/simple_playstream

USB

<USBドライバ>

- 以下の不具合を修正しました。

- `cellUsbdBulkTransfer()` で転送可能な最大データ長は 4 KB です。

この変更により、最大データ長は `libusb-Reference` の記載通り、64 KB になります。

- マウス、キーボード以外のHID Classデバイスの中で、HIDディスクリプタが存在しないデバイスはシステムLDDにて扱わないようにしました。

libmic

- `cellSysconfOpen()` を用いて音声機器設定ダイアログを開き、マイク感度を変更しても値が正しく保存されなかった不具合を修正しました。

- `cellSysconfOpen()` を用いて音声機器設定ダイアログを開き、入力機器の設定を変更してからダイアログを閉じるとマイクの音声入力が止まる不具合を修正しました。

- マイク感度が 0 の時のlibmicからの音声出力レベルを下げました。